

「売れるキンドル出版」通信講座

実践編

【第15回】

推敲・校正・校閲



= 目次 =

推敲・校正・校閲とは
ワードの校閲機能の使い方

推敲(すいこう)とは

自分が書いた文章を読み直して、
もっと良い表現はないか？
意味が通じない文章はないか？
気になるところを修正する作業



文章の表現をより良いものにする作業

校正(こうせい)とは

文章の誤字・脱字、表記揺れなどを修正する作業

表記揺れとは
同じ意味を持つ単語の表記が
漢字、カタカナ、ひらがなでバラバラ
読者が受け取る印象がかわったり、
意図する意味で伝わらないことも

単語の間違いを修正する作業



校閲(こうえつ)とは

文章自体の整合性や不備がないかを調べる作業



- 時系列があっているか
- 住所は正しいか
- 数字はデータと合っているか
- 引用表現は正しいか

事実確認をする作業

- 推敲(すいこう)・・・文章の表現をより良いものに修正する
- 校正(こうせい)・・・誤字・脱字など単語の間違いを修正する
- 校閲(こうえつ)・・・文章自体の整合性や事実確認をする作業

推敲・校正・校閲はワードの「校閲機能」で
音声読み上げ・誤字脱字チェック・スペルチェック・文法チェック

校閲チェックリスト

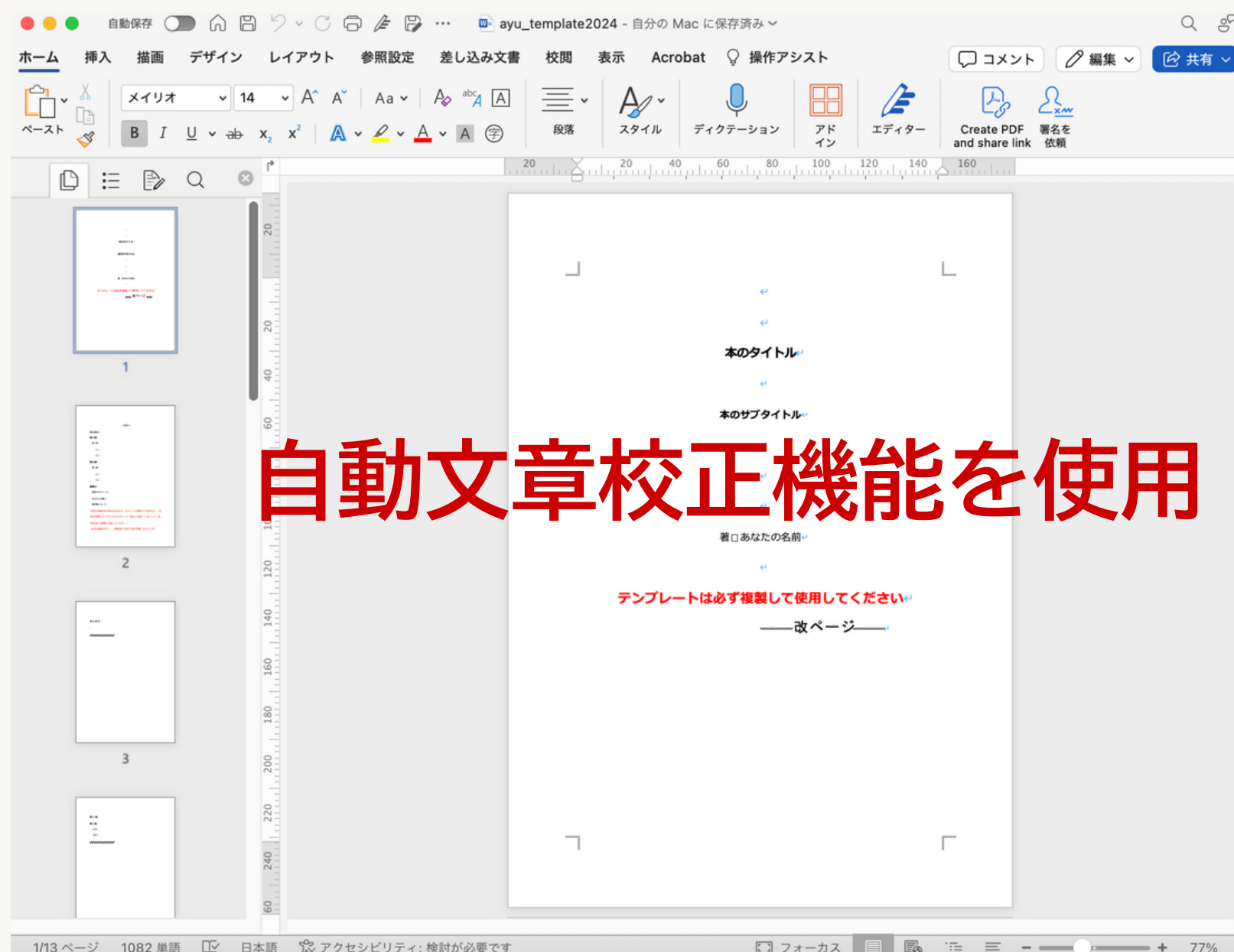
原稿推敲・校正・校閲チェックリスト		チェック
文章	「ですます調」または「である調」で統一されているか	
	文末表現の繰り返しはないか（「です」が続くなど）	
	1文は長すぎないか	
	言い回しがくどくないか	
	説明不足はないか	
	ネガティブ・マイナスイメージでないか	
	読みやすいように、句読点や改行を意識しているか	
	接続詞の使い方は間違っていないか	
	無駄な接続詞はないか	
	～の～の、～が～がと助詞を2つ以上連続で使っていないか	
	ので、のため、という、してしまいなどの繰り返しはないか	
	二重表現はないか（頭痛が痛いなど）	
	冗長表現がないか（「することができます」など）	
	断言できているか（思います」「らしいです」は伝聞表現は避ける）	
	文章のねじれはないか	
	漢字や熟語が多く難しく感じないか	
	修飾語と被修飾語の関係は適切か	
	具体的な表現ができているか	
	引用・参考文献の表示は適切か	
	AI生成の文章が盗作にあたらないか（著作権違反）	
	AI生成の文章の事実関係に間違いがないか	
	固有名詞、歴史的事実、データの数値に間違いはないか	
単語	難しい専門用語や漢字はないか	
	差別語・不快になる言葉はないか	
	読みにくい漢字はひらがなに変更する	
	誤字脱字、タイピングミスはないか	
	表記ゆれはないか	
その他	英数字の表記は全角または半角で統一されているか？	
	単位記号を統一しているか？（カタカナ・記号）	
	画像は高解像度で挿入しているか	
	過剰な装飾をしていないか	
	アフィリエイトリンクは挿入不可	

ダウンロードはこちらから

https://kigyoudamashii.net/wp-content/uploads/2024/03/2024_genkou_kousei_checklist.xlsx

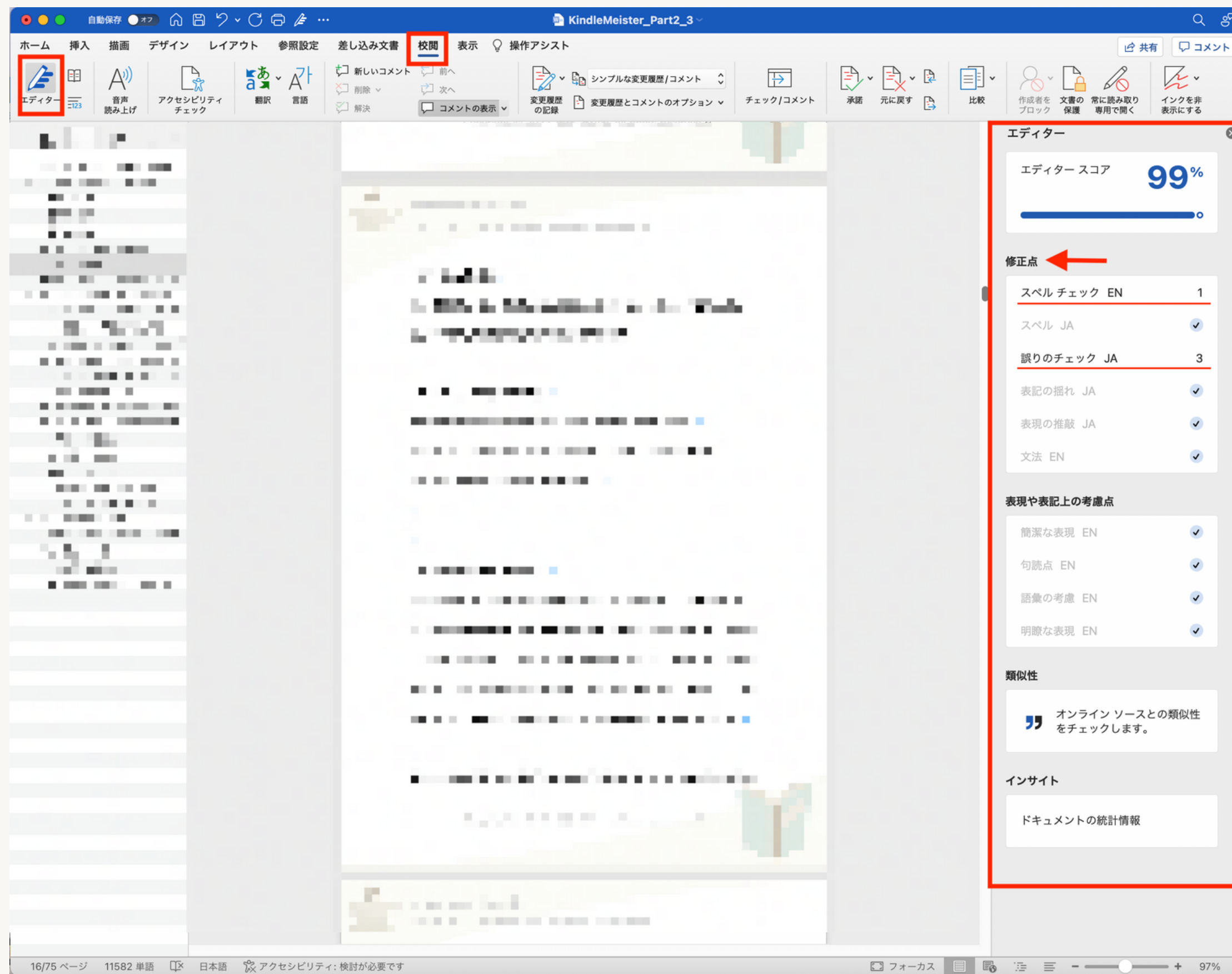
<ワードの校閲機能の使い方>

下書きした本文をワードテンプレートに転載（操作マニュアル参照）



キンドル専用ワードテンプレートは→ [こちらからダウンロード](#)
ワードテンプレート操作マニュアルは→ [こちらからダウンロード](#)

校閲＞エディター＞修正点で指摘された場所を修正



←英語のスペルミスが1箇所

←日本語の間違いが3箇所

クリックすると間違いの箇所が表示

→その場で修正

- 誤字脱字チェック
- スペルチェック
- 文法チェック

青い二重線・赤い波線・緑の波線などでミスを発見

・ <ワードの校閲機能の使い方> ←

・ (7) 奥付けを追加する ←

奥付けとは、書籍の巻末に記載する、本のタイトル・サブタイトル、コピーライ
ット、著者名・編集者名・発行者名・発行所名、価格などを記したページのこと

電子書籍のコンテンツは、改行の位置によって見え方や印象がごろっと変わります。「リフロー型フォーマット」では、読者が読む端末で文字の大きさやフォントが自由に変更できるため改行する位置をしっかりと考えておかないと、文字がズレズレになって途端に読みにくい本になります。 ←

例えば、小説や論文のように、読者にじっくりと時間をかけてもらい集中して読んでほしい本とビジネス本やノウハウ本など、さらっと気軽に読み流してほしい本では、改行のポイントを変えます。 ←

※必ずしも「日本語の間違い」ではないことも

音声読み上げ機能を使って「第3者」チェック



第3者の声で文章を読み上げてもらおうと修正点がすぐにみつかる

添削指導などを受ける場合

元の文章からどの部分に修正が入ったのか「変更履歴」を残せる

校閲＞変更履歴の記録＞すべてのユーザー



「変更コメントなし」を選択すると添削箇所は消えます
(記録には残っているのでいつでも読み直すことができます)

